

出版物名(タイトル)	エジムンド・ススム・フジタ ブラジル外務省初の日系ブラジル人
著 者	ウィリアンス・マルコ・デ・カスチリオ・ジュニオル Willians Marco de Castilho Junior
出版社名	
発行日	西暦 (年) / (月) / (日)
ページ数	162 頁
ISBN (あれば)	978-65-01-79971-1
金 額	円(税込み・税別)←どちらかに○
概 要 紹介文	本書は、初の日系ブラジル人外交官の歩みを描いた伝記です。 エジムンド・ススム・フジタ(1950-2016)は、家族の伝統や社会的偏見に立ち向かい、1975 年にブラジル外務省(イタマラチ)に入省した最初の二世として知られています。サンパウロで日本人移民の子として生まれた彼は、教育の分野で優れた才能を発揮し、学問的にも高く評価されました。 彼の生涯は、ブラジルにおける日本移民史の中でも特筆すべきものであり、多くの若い日系人に道を開き、アジア系の代表性を促進する契機となりました。著者ウィリアンス・カスチリオ氏は、フジタ氏の人生を深く掘り下げ、読者をブラジルの地政学、イタマラチにおけるアジア系アイデンティティ、そしてサンパウロの日系社会の歴史へと誘います。 各章は簡潔で読みやすく構成されており、学術的な厚みを保ちながらも、一般読者にも親しみやすい内容となっています。 フジタ氏が直面した困難、彼の顕著な功績、そしてブラジル外交への貢献を通して、卓越した外交官の記憶を継承し、新たな世代へのインスピレーションを与える一冊です。 ※本の内容は、以下のリンクからお読みいただけます。 https://jadesas.or.jp/jp/wp-content/uploads/2025/11/Edmundo-Sussumu-Fujita-book-PDF-File.pdf
連絡先	著者:ウィリアンス・マルコ・デ・カスチリオ・ジュニオル メール: willianscastilho@g.ecc.u-tokyo.ac.jp